

2018年  
年末号

Takamatsu JC

Vol. **8**

# ACTION NOW



高松青年会議所事業

まちづくり事業

「たかまつ国際夜市」

「SDGs」

「教育実践事業」

特別対談

高松青年会議所2018年度  
第58代理事長

IT・科学技術担当大臣  
衆議院議員

高松青年会議所2019年度  
第59代理事長予定者

**松岡敬三 × 平井卓也 × 平田有一郎**

特別三者対談 これからの日本の未来について





高松青年会議所2018年度 第58代理事長 松岡敬三 × IT・科学技術担当大臣 衆議院議員 平井卓也 × 高松青年会議所2019年度 第59代理事長予定者 平田有一郎

# 松岡敬三 × 平井卓也 × 平田有一郎 特別三者対談 これからの日本の未来について

**松岡** まずは、ご就任おめでとうございます。香川県からの大臣ということで本当に嬉しい限りですが、具体的にはどのようなことをしているのでしょうか。

**平井** IT・科学技術担当大臣、内閣府特命担当大臣として知的財産戦略、クルジヤパン戦略、宇宙政策、健康医療政策と様々な分野を担当することとなりました。また、知的財産戦略ビジョン会議には、日本青年会議所の会頭が委員として参加いただくことになっており、地元出身の鎌田長明会頭にも関わっていただき予定です。担当分野は多岐にわたりますが、全ての分野が「デジタル化」という一つのキーワードで繋がっています。これからの時代はデジタル化とグローバル化が加速度的に進んでいきます。そんな中で、我が国がどのように対応するかのか取りが私の仕事であり、非常にやりがいがある仕事です。

**松岡** 分野が多岐にわたるので非常に幅広い仕事だと感じたのですが。

**平井** 政府のIT政策の総合司令塔の役割を果たしていく必要があるため、全省庁の業務を横断的に改革する仕事となります。全体の行政コストを20%以上削減することに加え、サイバーセキュリティにも強くて利便性が高いデジタルガバメントをつくっていくこともミッションです。

**松岡** 2019年度は青年会議所では世



界会議がエストニアで開催される予定です、エストニアはIT推進を国策で行っているのと伺っていますがいかがですか。

**平井** エストニアとは以前から交流があり、現在は日本エストニア友好議員連盟の会長をさせて頂いています。エストニアも少子高齢化や人口減少の流れの中にあると共に、資源が少ない状況で、ITを使って国家を発展させ、その結果国民を幸せにするという閣議決定を行い、一気にIT化を促進しています。エストニアは九州ぐらいの面積に大分県ぐらいの人口（135万人）が住み暮らしています。冬は寒く雪が積もるような環境です。その環境の中で、すべての選挙がスマートフォンで投票できるようにしています。これは、若い人の投票を促進する目的ではなく、高齢者が寒い冬に投票場まで赴かなくても良いようにするという目的があり、結果的に高齢者の投票率が上がりますが、その速度を使って何か新しいことを考えていますか



**平井** 例えば、介護の業界ではリアルタイムでセンサー情報を取ることができるようになります。トイレに行くとか転倒しそうな状態が遠隔で把握できるようになり、そういう情報を現場で活用できるようにになります。また、電力についても同様です。どれだけ効率的に使用しているのか考えた場合、現状は必ずしも効率的に使用しているとは限りません。5Gの世界となるとあらゆるものがインターネットと繋がって、つなげるためのデバイスの中である程度計算してその情報を収集してサービスに繋げていくことが可能になってきます。特に医療や介護や物流といった分野には顕著でしょう。また、もう一つ僕が担当している宇宙施策でも、11月1日からサービスインとなった日本独自の測位衛星システム「みち



向上することに繋がりました。また、エストニアでは国民がいったん情報を国に提供すれば、国は同じ事を国民に聞いてはならないことになっています。国民から提供された情報は情報共有され、きわめて効率的な行政を行っているのです。

には対応できると思っっています。大事なのは周囲のアシストであり、それを社会全体でやるデジタルサポーターをつくりていきます。スマートフォンを使える人は得だけど、使えない人は損をするようなことがあってはいけないので、社会全体でサポートしていく体制をつくってきたいと考えています。

**松岡** これからの日本や香川県の未来についてお聞かせください。

**平井** 確かにそのように思う人も多いかもしれませんが、私が考えるデジタル社会というのは全ての人々がデジタル化の恩恵を享受できる社会です。例えば、私の母親はタブレットで買い物もするし、スカイプで孫とも会話するし、フェイスブックもチェックしています。でも、わからない時は、私を含め周りの人に相談や質問などします。周りがサポートすれば、どのような方でもデジタル化

**平井** 日本は世界で最初に高齢化社会が到来し、そして人口が減少していくような局面に入っていきます。海外の労働力を積極的に受け入れるという考え方もありますが、労働生産性を高めて経済成長していかななくては社会保障費が賄えないという非常に困難な状況に陥っています。そのような多くの課題を新しい考え方や新しいテクノロジーを駆使して解決していく、国民が幸せになるようなデジタルとアナログの領域が融合された環境が次の時代には必要であると思います。そのために、高齢者であろうが若者であろうが不安や不便さを感じない社会に科学技術やITがどれだけ貢献できるかを実証実験していく場が次の日本でもあると考えています。

**平田** 世界の中でも注目されているということですか。

**平田** 携帯電話は5G（第五世代移動通信システム）で速度が速くなるかと思







びき」は、精度が飛躍的に向上し、静止状態ですと6cm、動いていても12cm以内の誤差で判別できる。これは、東北などの雪国ではセンサーラインが見えない状況でも除雪車を正確に稼働させることができるようになるのです。香川県でもGPSを使って交通事故防止のためにジェネクスというベンチャー企業が、事故が起きるメカニズムを解明しようとしており、事故をデータに基づき防止できる日もそんなに遠くはないでしょう。

**松岡** 人為的なミスまでの事故ですか。

**平井** 人為的ミスがということですね。信号のタイミングが悪いのか、なぜ信号無視するかなど何が悪いのかを論理的に説明できるようになります。

**松岡** 事故の原因である人間のきつかけを無くして行こうということですね。



と、70歳以上の方でも十分に活躍できる人が増えてきます。一日のうち短時間であれば働けるという人たちを瞬時にマッチングできれば、労働力を最大限に活用することができます。

ニーズと人材をマッチさせるこの計算が非常に素早くできるようになってきているのです。AIで業績を伸ばしている中小企業は、クラウド上にあるAIを活用しています。売上予測や出店予測などの情報を活用して生産性をアップしています。今のAIというのは人間に代わってではなく、人間が望んだデータを瞬時に用意してくれる存在と考えるとわかりやすいと思います。自分で考えるよりもそういうデータを使った方がより効果的です。このようなクラウドサービスを2000社ぐらいに提供しているベンチャー企業もあるのです。

**松岡** シェアハウスやシェアオフィスを

**平井** そうです。普通に運転していると思っても、道路交通法を厳密に当てはめれば、1日200回程度の違反をしていたという実験結果もあります。そういったデータを集めて、総合的な検証を加えれば、香川県で初めてデータを使って事故をなくすという取り組みが実現できるかもしれません。

**松岡** 香川県知事もあれだけ交通事故の話をしているので。

**平井** 一種のAIの活用ですね。ようするに車に取り付けたGPS情報加速度センサーがありとあらゆるデータを分析して事故防止の対策を実現しようとしているのです。

**平田** それだけデータが大事になってくるとセキュリティが大事になってくると思うが、今の日本のセキュリティレベルは高いのですか。

**平井** サイバーセキュリティだけで考えると、日本はよく頑張っていると思います。日本の技術者はレベルが高い。名前は表に出てきませんが、各会社の中には世界に輩出しても恥ずかしくないホワイトハッカーのような技術者が実はいらんですよ。そういう人たちが水際でサイバー攻撃を止めている現実があります。分析して対処する技術がどんどん進んでいて、海外との連携もできてきている。それをさらに強化していかないといけないと思います。更には、従来のスーパード

作っています。そこに田舎に移住したいという東京のベンチャー企業が、うちのシェアオフィスを使ってきています。30代の若い子で会ったことはないが、AIの先進技術を持っている人らしく、東京で働かなくてもどこでも働くことができるような状況みたいです。スカイプなどを活用し活動しているみたいです。香川県にとって相当財産になると思います。

■高松JICに臨むこと

**松岡** 神奈川JICがスタートアップ支援事業という事業を発売に行っています。収益も上がるような事業もあり、今度見学に行こうと考えています。

**平井** 高松流でやればいいと思います。スタートアップで面白いのは沖縄、福の



ンピュータと比べ物にならないほど処理能力が高い量子コンピュータといった分野も各所で研究されています。量子コンピュータは、ブロックチェーンで利用されている暗号化の技術を打ち破る可能性も指摘されているのです。

■SDGsについて

**松岡** SDGsと未来の日本や未来の香川がどうなるのか、企業としてどう対応していかないといけないのかを教えてください。

**平井** 海外の科学技術担当大臣と会話するとそのような話はかりです。例えば、特定の植物に寄生する害虫を分子レベルで駆除するといった素晴らしい技術があります。また、ディープランニングを使ったオプティコムという会社は、ドロー



岡、大阪、神奈川です。その人達と連携して高松も活動していくのは面白いかもしれないですね。男木島の人達、高松大

学生、常磐街の人、新しい人の情報交換ができればいいのですが今はバラバラなんですよね。また、失敗した人をほめる文化を高松でつくって欲しいです。外国に行ってみると失敗に対する評価がまったく違うことを痛感します。例えば3回失敗したとしても、3回も失敗したのだから、次はきっと成功するだろうと。また、シェアリングエコノミーについてもJICとして本格的に検討していただきたいですね。特に、地方では公共の持っているアセットの有効利用から始めるのがいいと思います。公共施設で使われていない日や時間帯を民間でいかに有効活用できるかということです。また、日本の歴史と文化が詰まった社寺での体験・滞在サービスを手掛ける「お寺ステイ」や外国人が教える家庭料理教室の「Tadaku(タダク)」など、シェアリングエコノミーには新しいアイデアが満載です。汚いお寺を再生して、精進料理の教室とか説教とか、非日常的な体験はとて

も新鮮です。料理教室は飲食業の許可や保健所への届け出がいらないので明日からでもできます。どんどん始める人が増えていけば面白くなりますよね。例えば、瀬戸内国際芸術祭で外国人がたくさんくると思いますが、普通のレストランでの食事よりその地域独自の体験ができる方が喜ばれるのではないのでしょうか。

**平田** そういった事例を踏まえたアント

**松岡** SDGsの分野の中で、テクノロジーという分野であれば、平井大臣が担当するもの全てが関わってくるように思いました。

**平井** SDGsを目指すならば、テクノロジーが不可欠になってきています。そこで日本が主導的な立場をとれるのがどの分野かを決めて具体的に進めてきています。

例えば、介護の分野では、転倒防止や排泄補助などでヘルパーさんの仕事をどれだけ減らすことが出来るのかが大きなテーマです。これからの働き方改革を考慮する

レプレナーのような事業を起こすなど、アイデア一つで気づきがありますよね。

**平井** 新たな試みとして「Pitch the Minister懇談会(通称：平井ピッチ)」をスタートさせました。ピッチとは「プレゼンテーションの短い版」というニュアンスで、既存の製品やサービスの詳しい説明ではなく、前例のない革新的なアイデアや魅力的な企画などを短時間で説明するカジュアルなアピールです。ピッチを受けるたびに一般には知られていない刺激的なアイデアや目からウロコの先端技術が日本には少なからずあることに驚かされます。そのアイデアや技術をうまく実装することができれば、日本はまだ大丈夫です。





# 「SDGs 事業」



## 高松青年会議所 事業報告

SDGsとは、国連で採択された持続可能な世界を実現するための17のゴールです。本年度高松青年会議所は、企業からSDGsを取り組む事を目標に、県下100社に「SDGs取り組み事例」を収集しました。現在ビジネスの世界では「共通言語」となりつつあります。我々はこれからも率先してSDGsを自社企業やJCで取り組み、社会課題を解決できるリーダーとなって参ります。



# 「教育実践事業」



高松市内12校を訪問し、「夢育プログラム」「人権プログラム」「国際プログラム」「徳育プログラム」の4つのプログラムを、延べ22回開催いたしました。積極果敢に手を挙げて発表する子どもたちの姿には、私達メンバーも気付かされる点が多く、お互いに学び多き機会になりました。



# まちづくり事業 「たかまつ国際夜市2018」

## 高松青年会議所 事業報告



2018年10月18日(木)・19日(金)の18時から22時まで、丸亀町グリーンけやき広場にてたかまつ国際夜市2018を開催いたしました。

香川の「食・文化・アート」を体験でき、香川の「食・アート・文化」を楽しみつつ、市民と外国人が交流できる様々なイベント内容でした。延べ10,000人が来場され、大人から子供、外国人観光客にも楽しんでいただけた夜市になりました。





# 入会者募集



## 【新入会員募集】

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所の基本の一つは、地域の産業を担う20歳～40歳の青年が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各事業を通して切磋琢磨し、厳しい経済情勢のなかにあっても力強いリーダーシップを発揮できる人材を開発することにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい!」との一念で会員拡大事業に取り組んでおります。

会員一同共に夢を語り合える仲間として、青年会議所の扉を開いていただけることをお待ちしております。

## 【入会に際して】

所属されている企業・経営されている企業の形態や規模は一切関係ありません。個人経営の方から、サラリーマン、OLの方たちまで幅広い多くのメンバーによって構成されています。

自分に投資し自己を成長させ、一緒に自己を企業の発展を目指していきませんか?

私たちと一緒に活動できることを切に願っております。  
お気軽にお問い合わせください。



詳しくはこちらへ  
高松青年会議所入会のご案内  
<http://takamatsu-jc.com/nyukai>



会員拡大会議 議長  
井角 文洋


(株)ナセル 代表取締役  
ビルメンテナンス(美装業)

ACTION NOW 2018年年末号

編集・発行所 平成30年12月25日発行

公益社団法人 高松青年会議所  
〒760-0029  
香川県高松市丸亀町2-13  
丸亀町式番街3号館4階  
TEL:087-811-4677  
FAX:087-811-4678



編集者 

総務・広報委員会  
理事委員長  
山吹 公一郎  
(株)日進堂 執行役員部長  
建築業



スマートフォン、タブ  
レットの表示に対応  
しています。

QRコードで  
今すぐアクセス!

<http://takamatsu-jc.com>

高松JC

検索 